

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番地10
TEL.(0258) 32-2811

◆スタッフ◆

安藤一夫 小林国二 小林善秋 高橋潔
加瀬由紀子 近藤マリ子 近藤善信
印刷・(株)北越時報社

あんじん 安心の日々

翠巖龍弘

暑中お見舞い
申し上げます。

左の写真は、「池大雅」(江戸中期の南画家で京都出身、

名は無名の掛け軸です。

お檀家の方からご寄付頂いたもので、先代もこの絵を好み、時折、軸の前に座

り「本物と思われるが、贋物かも知れない。本物だつたらめつたやたらに掛けておけないのだが、解からな

いから気楽に掛けることができる。」と、私の子供の頃は年間の内、三ヶ月位は書院の床の間に掛けっぱなしになっていました。
昭和四十九年に、長岡の絵画に詳しい方の紹介で鑑定して頂くため、先代が風呂敷に包んで上野の美術館に持参したところ、真正正銘「池大雅作」とのお墨付きをいただくと同時に、管理方法の注意を受けました。
帰岡後早速、表装をし直し、その後は年間二、三日程度虫干しのため出される

だけ、片付けるときも羽箒で蜘蛛の卵などがあるとつけないので払い、何重にも包まれ掛け軸箆に片付けられると言う変わりようです。

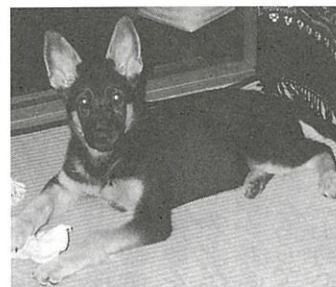
昔のように気楽に床の間に掛けられ、多くの人に見て貰った方が、大雅自身喜んでいられるのではと、つらつら感じるこの頃です。

話は変わりますが、皆様は猫派、犬派どちらですか？私は猫派であると自負しておりました。猫の貴婦人的な感じ、少し自分勝手なところが好きでした。犬の良さは全く考えてもいませんでした。

今回、ペコシリーズでも紹介されましたが、因縁あって犬を飼う事になり、私の犬に対する考えは大きく変わりました。

「伴う者は親し」と言われるように、先ずは顔中を嘗め回し、スキンシップから始まる犬の態度、人間を信頼しきって自分の感情のままに飛び込んでくる犬に対し、日に日に親しみが強くなって参りました。人間同志と同じではない

でしょうか？ 私どもは人生において、多くの出会いがあります。相性の良い人ばかりではありません。



こちらが好ましく思っていない人が、どういう訳か私を信用し、自分を投げ出して接して来られると、いつのまにか百年来の知己であった様な親しい仲になったり、その逆もあると思います。

「来るものは日々に親し」の諺の如く、お互い限りある人生、年齢を超えて一人でも多くの友を持ちたいものです。信仰も同じで、もつと仏様に親しく接すれば人生(安心)の日々を送る事が出来るのではないのでしょうか。犬のお蔭でしょうか。頭の中で理解していた事が、理屈ぬきで感じられる昨今です。

かんしゃくの、くの字を捨てて、ただ感謝

ご家族の皆様でご覧ください



安善寺の寺宝

近隣寺院紹介

太平山興国寺 長岡市千手

小林虎三郎の墓所があるお寺です

古文書によると、「当寺

ハ寛文元年旧藩主牧野市右エ門の創立開基ニシテ、法外雲吉大和尚之方開山タリ、其後物変リ星移リ幾多ノ星霜ヲ経テ、明治維新ノ際火災ニ罹リテ本堂庫裏等悉ク烏有ニ帰ス、依テ十九世恵山仙能和尚ハ苦心慘憺普ク檀信徒ノ浄財ヲ募リ、明治十六年九月現今ノ堂宇ヲ再建セリ、故ヲ以テ師ヲ中興ノ開山トナス」とあります。

しかし、残念なことに先の大戦の長岡大空襲によって、興国寺もその例外ではなく、境内の堂宇は跡形もなく焼失してしまいました。

明治時代に発行された「太平山興国寺之景」というパノラマ図を見ると、本堂を始め、庫裏、方丈、土蔵、太子堂、不動堂、地藏堂が建ち並び、誠に威風堂々とした禅寺だったことがわかります。今更の如く、残念



絵・禅道泰叡

至極でなりません。

戦後、再建に情熱を燃やし続けた、当山第二十三世大観良辨大和尚は、大正五年佐渡に生を受け、加茂大昌寺、東京芝の青松寺で修行を続けながら苦勞の末、法政大学を卒業。

興国寺住職 小西 慧道

続くこととなります。

本堂再建にあたっては、檀信徒の寄付だけでは到底足りず、一万坪余りあった所有地の八割方を、千手小学校のグラウンドと校舎の一部として売却。

それでも足りず、当時の国鉄南長岡操車場の線路と線路に挟まれた飛び地まで、売却したそうですから、住職始め護持会役員の並々ならぬ苦勞が偲ばれます。

平成五年、位牌堂と研修道場が完成、あとは時期を見て庫裏の新築を願っておりましたが、平成十二年八月三十一日、三週間前に先立った妻、梅の後を追うように遷化しました。

興国寺を名乗っても、よく判って戴けないときに、「小林虎三郎の墓所です」と紹介すると「ああ、米百俵ね」と大概の人は判ってくださいます。

五月の国会で、小泉首相が所信表明演説の中で、「米百俵」の精神にふれたことから、この所、テレビ、新聞などの取材申し込みが増え、少々困惑しています。

取材人が訪れる日は、留守にもできず、寺役が假らないからです。

休業補償をして貰いたいなーなどと、半ば冗談、半ば本気で思ったりもします。

こういうのを、ありがた迷惑というのでしょうか。

「米百俵」の故事が、全国的に知られるようになったのは結構なことですが、そのせいか、この所、毎日のように団体でグループで、虎三郎の墓参りに訪れる人が増えています。

しかし、誰一人とて合掌する人がいないのです。説明文を読んで「ふうん」と頷きながら、そそくさと、バスに乗り込んでいきます。

あとには、飲み物の空き缶が点々と…。これ、教育の大切さを説いた小林虎三郎の精神に反する厚意ではないの？ と、ブックサ文句の毎日です。

お知らせ

お盆の棚経は安善寺本堂で法要を勤めます

安善寺では、例年ですと盂蘭盆の行事は、

◇八月一日……一日盆参 (主に新盆の方々が中心)

◇八月十三日……盆参 (全檀家の方々が寺への盆礼、盆参り夜七時から施食法要)

◇八月十四・十五日…棚経でございましたが、棚経を二日間中市内檀家を廻る事は物理的に困難を極め、また待つておられるお檀家の方々からも「日時も判らず待つのが大変」とおっしゃる声が多く聞かれるようになりました。

そこで、今年から、十四日に「新盆」のお宅だけ棚経に伺い、

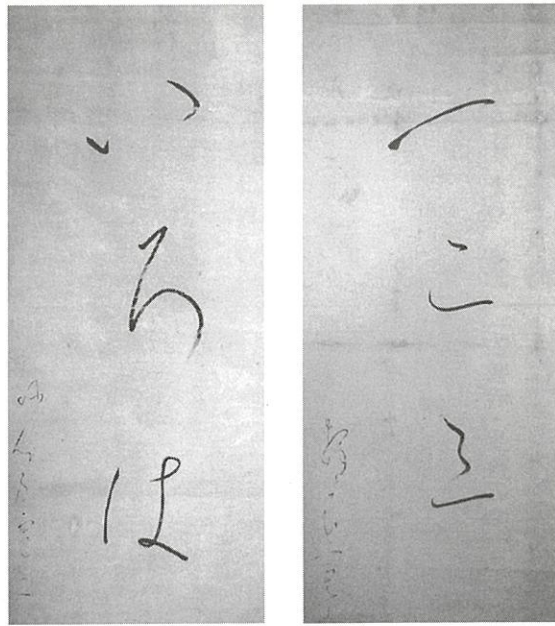
◇八月十五日、午前十時からと午後三時の二回、安善寺本堂で、盆施食会の法要を勤めることに致しました。

お檀家の皆様におかれましては、午前、午後どちらでもご都合の良い方にお寺へお越しいただき、棚経に変わります。先祖代々のお参りをお願い申し上げます。詳細は後日、改めてご連絡申し上げます。

良寛の書。魅力の源

“澄み切った清らかさ”が観る人のこころの仏性を感応道交させる

長岡良寛の会幹事 築井 仁



前の、会津八一作品集での似た体験を思い出しました。

大仕事で、三ヶ月ほど机に向かったままで仮眠生活のときでした。疲れ果ててペンが進まなくなつたのですが、手にした八一作品集にわけもなく魅きこまれ、三十分ほど後には元氣回復ペンが進んだことでした。

◆良寛さんで元氣回復

私共が良寛さんとふれあうのは、逸話、詩歌や文章、書画の三つでしょう。いずれにせよ、良寛さんの世界には「いのち本来の素直さ」が脈打っており、様々な欲で覆われて衰弱している現代人の「本来のいのち」を元氣回復させて下さるので

はないでしょうか。

私は良寛さんの書で心情洗われ元氣回復の体験に恵まれました。仕事や人間関係などで悩んでいたときでした。良寛没後百五十年展の図録を眺めていてふと気が付くと、こころも体も実には軽やかになっていた不思議な体験でした。そして数年

ただただ遊ばれたのではないでしようか。そこにひとりで現れてくるのが良寛さんのそれまでの人生の苦悩を浄化した清水それも岩清水の味ではなかるうかとの閃きでした。

これに對して、八一先生は書に賭け書に没入され、ご自身の書風を確立し天下に誇り、多くの人を酔わせました。酒は嫌なことを忘れたり普段の自分以上の力を与えてくれることもあり、さすが中毒になりがちです。岩清水は全く中毒の心配がなく、飲む人本来の生命力をとりもどし元氣つけます。人生は美酒に酔い続けるも幸せ、岩清水こそに至るも幸せでございます。

以後「八一先生天下の美酒よ、良寛さんは岩清水」と語って参りました。さらに一昨年、亀田鵬齋展で挫折した鵬齋先生に大きな可能性を感じ「八一旨酒、鵬齋濁酒、良寛さんは岩清水」と申しあげたのでした。

◆無心—良寛の魅力—

良寛さんの魅力の源を一言でいうなら“無心”では

ないでしようか。

良寛さんは、娑婆の苦しみ、悲しみ、恨み、つらみなどを超脱されようときれ、正法眼蔵の言葉借りて言え「ただ仏法祖道を自己の身心にあいちかづけ、あいいとなむを、よろこび、のぞみ、こころざし」ながら、己の本性を見つめたとき、教団社会にも背を向けねばならなかつたのではないでしようか。そして、すべてを因縁として受け入れられました。その“深いあきらめ”の世界が「無心」と思うのです。

この諦めの心の底からおのずと生じる“澄み切った清らかさ”が観る人のこころの仏性を感応道交させるものと思うのです。

写真はその代表の一つと想う作品です。巻町で村人から「おらにも読める字を書いてくれなせや」と言われてお書きのものです。

この作品に「無心の筆の舞終えて、仏心舞うなり乾坤を」を感じております。皆様がいかがでしようか。

お願い

盆花の飾りに、びん・缶の使用はご遠慮ください

今年も又、お盆を迎える時期になって参りました。

毎年、墓地はお花で溢れる位になるほどたくさんの方がお参りにこられます。折角だから、一日でもお花が永く持つようと、それぞれ大きな入れ物を工夫して、お持ちになるお気持ち、痛いほど解かるのですが、何せ猛暑のため、水を入れ



ても入れなくとも、花の持ちちは変わりません。かえって水が入った方が腐りやすく、異臭を放つ原因になっております。

それと、毎年十七日に墓地の後片付けの折、瓶、缶等の始末に困っております。

今年から瓶、缶等のお持込みは、ご遠慮ください。ようお願いします。

心を落ち着けて、人間らしい 生き方を考えるのが坐禅。

忙しい世の中です。チャンスがあつたら「いちど坐禅を試してみたい」と思っている人が、意外に多いようです。

「静かに自分を見つめたい」という心情が、「坐禅」を思い起こさせるのかも知れません。

しかし、実際に坐禅を始める人は少ないでしょう。近くに道場がなかったり、適当な指導者がいなかったり、時間の余裕がなかったり、結局は思っただけで終わってしまいます。

「坐禅の会」のメンバーにお集まりいただいて、坐禅とは、どんなことをしているのか、お聞きしました。



出席者

「安善寺・坐禅の会」メンバーの中から九名の皆さまにお集まりいただきました。
阿部昭次、今泉ナミ子、片桐 禄郎、坂口恵之、田村美知子、築井仁、広島猛、丸山巳子二、渡辺範子、
正師・翠巖龍弘
(アイウエオ順)

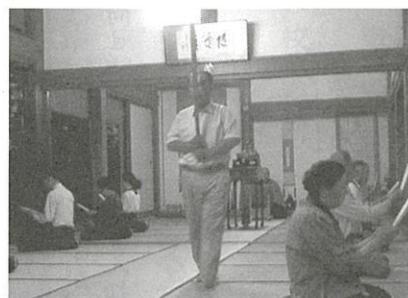
「坐禅会」に参加した、 きっかけ。

みなさんは「坐禅の会」に参加されたきっかけが、それぞれありでしょうが、そのきっかけを教えてください。
築井 私は、長岡に来てから、坐禅のできるところを探していたら、あちらこちら探して

いたんですよ。そうしましたら、安善寺さんに看板が下がってしまっていてね、それから、ずっと続けています。始めたのは、昭和三十七年（一九六二）の秋からです。
渡辺 私は、「寺報」に坐禅のことが書いてありましたので、それを読んで、今年の四月から参加させていただきました。初めはね、シーンとした雰囲気緊張しましたけど、足を伸ばさせていただったり、腰を楽にさせて貰ったりして、楽しく坐禅をさせていただいておられます。ちよつと、年を取りすぎたかなと思いますけど、ほんとによかったと思います（笑）
田村 私は、四年前のことなんです。桜を描いた一枚の絵がきっかけだったので、その桜が雲出の香林寺さんにありましてね、お伺いして桜の老木を見せて



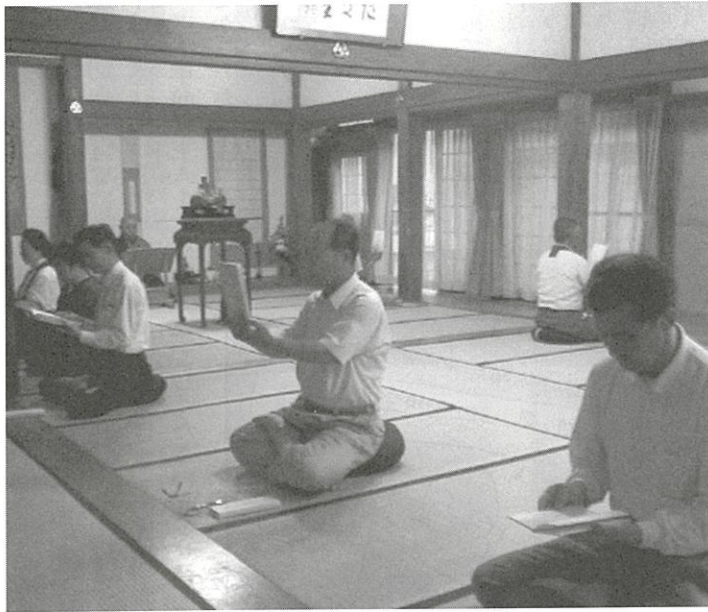
いただきながら、坐禅をさせていただけるところがないか、お尋ねしましたら、安善寺さんをご紹介いただいたんですよ。
今泉 私は、子育ても終わりましたね、独りで暮らしているのですが、こちらの田村さんに相談して、参加させていただきました。参加してみて、お寺って、こんなに気持ちのよいところなのか、と感動してしまいました。
丸山 私、昔からお寺さまが好きで、郷土史の勉強をしながら、方々のお寺を回って見ているうちに、仲間がこちらの坐禅会に誘ってくれたのがきっかけです。もう、ずいぶん昔の話になりますね。
片桐 私は檀家ですから、坐禅会をやっていたのは判



らでしようか、最初は家で独りの坐禅をやっていたのですが、その日によって違います、長い時間はできませんし、集中できません。なかなか思うようにいかなかったのです。それで、安善寺さまにお願いしました。坐禅を始めた根本を正せば、やはり釈迦でしょうか。

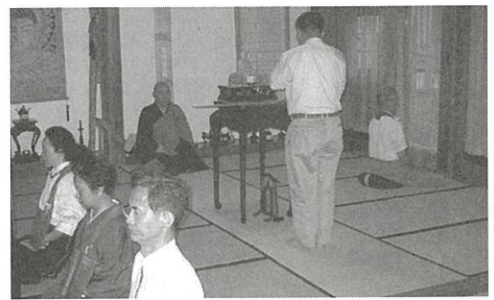
坂口 私は、郷里が福岡でして、昭和二十七年に就職したのが長岡の会社だったんです。独身寮に入っていたのですが、福岡の兄から「お前は、飢えた犬みたいな生活をしているのではないか」って手紙が来ましてね、

できる所はないか、会社の先輩に相談したら、檀家の鷹藤さんが紹介してくれたんです。途中で名古屋や東京に転勤しましたが、転勤先でも坐禅はずっと続けていました。四十八年続けてお世話になっています。は



「坐禅の指導をしてもらったらどうか」と言われたのです。あの時は、二十歳を過ぎたばかりの若造ですから、何もわかりません。坐禅の

い、授戒も受けまして、もう人生の一部になりました。阿部 私は、坐禅を始めて十八年くらいになると思いますが、もともと、仏を求める



気持ちが強くて、いままでいろいろなところを彷徨いました。後から判ったことなのですが、私の祖父は曹洞宗のお寺の総代をやっていたのです。子供の頃からお経を読まされた記憶があります。たまたま、出張した時に、坐禅の本を買いましたね、読んでいるうちに、坐禅をやってみたいと思ったのです。曹洞宗の宗務庁に電話をして、こちらを紹介していただいたわけですね。

和尚 阿部さんは、平成二年に得度をされまして、朝は早めに来られて、いっしょにお勤めをされています。坐禅会は朝六時からです

が、早い人は五時半過ぎに集まっていますね。みなさん、熱心ですよ。
人間らしい生き方を静かに考える。

坐禅は、曹洞宗の信仰の基本ですが、坐禅をしたことで、結果として得られたものは、どんなことがありますか。

片桐 私はねえ、結局は、自分にプラスすることしか考えていないってことを、最近強く感じますねえ。でもまあ、坐っているときは、それを離れて、息を調えることに集中しようと思っ



やっていますけど。健康のためにいいという意識ですかね(笑)
和尚 片桐さんは熱心ですよ。自宅で毎朝一時間くらい坐っていらつしやる。

片桐 いやいや、坐るのといっしょに、あくびをしたたり、毎朝背骨を真っ直ぐにしたり、指先などの末梢神経を刺激したりして、ま、健康法ですよ。

築井 私はねえ、片桐さんのやっているのは、ヨガだと思つた(笑)
片桐 新潟にヨガの勉強をかじりに行つたり、本を読んだりして我流でやっています。だめですねえ、あつちへ関心もつたり、こつちへ関心もつたり、ふらふらして。私ねえ、坂口さんにお聞きしたいのだけど、若いときから、ずっと坐禅をやっているらつしやるでしょう。その体験を聞かせてください。

坂口 年月は長いですけど、中身は恥ずかしく思いますよ、ホント。ただ、若い人たちと触れ合つて、坐禅に連れて行つたことが、よくあ



りましたが、若い方たちがもっと坐禅に親しんでもらえると、いいと思いますね。
築井 坂口さんは、立ち居振舞いとか、生き方が後ろ姿にでていますね。
片桐 そう、坂口さんには安定感を感じますね。
広島 口ではよく表現できませんが、坐禅をやつたところではないでは、天と地の違いですね。

秋号に、座談会の第二部を特集させていただきます。(つづく)

読者からの便り

●お墓参りに行きたいけど

長岡市 柳ハルコ

足腰を痛めてから、健康ほど大切なものはないと、つくづく感じています。

二十年前に主人を亡くしてから、お寺参りが楽しみに、お墓に参っては、墓の前で主人と話をしてきました。また、お寺の行事には欠かさず出席していましたのに、三年前から足と腰を痛めてから、すっかりご無沙汰しております。

今は、淋しく家の仏壇でお参りしています。

皆さま、健康には注意していつまでも元気でいてくださいね。

●朝日新聞に方丈様の記事

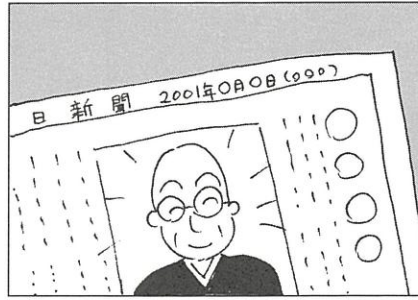
仙台市 佐藤ふき子

安善寺便りをお送りいただき、一気に読んで、充実した内容に、皆さま方の努力を感じます。

ご長男がこの度ご修行の

ため、鶴見総持寺に上山されましたこと、お慶び申し上げます。

先日、朝日新聞に方丈様の記事があり、うれしくなつて切り抜きました。禅の友、安善寺便りを頂きながら、御礼の便りも致しませんこと、お詫び申し上げます。どうか皆さま、お元気で過ごしてくださいませ。



●慰めのハッパ

柿崎町 小出優子

毎号楽しみに拝読させていただいております。

今日はちょうど、婚礼を目前に息子さんに先立たれたお宅へお参りをさせていただき、帰ってきて寺報を手に入りました。

「慰める」ということは難しく、「もう一人、お子さんがいるからいいですね」と言われる方があるけれど、「と、おっしゃっていいました。」

言葉も見つからず、生前の私に対しての彼の親切や、思い出を語って帰ってきました。いつしよに行ってください

つたお坊さん(浄福寺の井上さん)が、「人は100%死ぬんですけどね」と、帰りながら私に言われました。

●愛語はむずかしい

長岡市 白井虔一

私の耳が少し遠くなったのと、家内の声が少し小さくなったため、話をしていても通じ合えないことが時々ある。

つい大声を出してしまう。怒り声のようで具合が悪い。愛語とは、むずかしいものだ。

●父の思いやり

新津市 中野健一

私には、怖くて厳しい父が亡くなって、早いもので、



もう一年が過ぎました。

孫や曾孫に、お小遣いをくれるよきお爺さんでした。

胃がんが全身に転移して、きつと体中痛かっただろうに、何も言わずに笑顔だけ見せて逝ってしまいました。我慢強さと人の生きざまを、見せつけられました。

亡くなる前に父は、まだ元気である母親に何かを言い残していきかけたようでしたが、何も言わずに。

そして、今年百歳になるお祖母さんには、まだ父の死を知らせていません。父は、母親より早く逝く息子の切なさを教えたくなかった、と思うからです。

深い愛と思いやりを持った父を尊敬しています。

●楽しかった思い出

長岡市 木口イト

この時期になると、思い出されるのが、親睦旅行です。皆さんとご一緒させていただき、いろいろなところに連れて行っていただきました。

今は、体調を崩し遠出はできなくなりましたが、目を瞑ると、楽しかった思い出が走馬灯のように浮かんできます。

今は、お寺の行事があるときは寄せていただいて、方丈様のお説教をお聞きし、

今日一日無事過ごさせていただく喜びを、かみしめております。

●俳句の会を読んで

柏崎市 須崎春雄

俳句の会の座談会を読んで私も一句。みなさん添削ください。

草あおし

帰還の朝に土に立つ

戦友の

顔もうすれて朝の雪

校歌あり

汗が光りてニン立つ

甲子園

一球空をつらぬけり

雪道や

犬おれ妻と一筋に

大遠忌団参 永平寺参拝と京都の旅

日時/平成14年5月12日(日)~14日(火)

参加費/65,000円

定員/70名

※詳しくは次回秋号にてご案内いたします

平成十三年五月九日〜十三日 世界遺産アユタヤ遺跡とバンコクの旅

バンコク有名寺院を訪ねて

鷺見 豊子



安善寺様の海外旅行に、今年も参加させていただきました。今年タイ旅行。飛行機で六時間、気温三十五度を越えるタイの国に到着です。翌朝九時出発、十四世紀ころ建国し十七世紀に全盛を誇ったというアユタヤ朝遺跡を象に乗って巡ります。揺れる象の背の上では、とても優雅とはいきません

が、写真を撮ったり、手を振ったり、と楽しみました。河の上に建つバンパイヤ宮殿、山田長政ゆかりの旧日本人街へ。この国はいたる所で、象の置物や石像を見かけます。象はタイの象徴なのです。夜はお楽しみ「ニューハーフ・ショー」。素晴らしいプロポーションの女性？たちが歌って踊っています。



世界一美しいとのこと、思わずため息がでました。

三日目、エメラルド寺院、暁の寺院、王宮、涅槃仏寺巡りです。エメラルド寺院は、その名の如く、金銀赤青緑と、目も眩むばかりの輝きで建っています。御本堂様は、エメラルド色の碧石で彫られています。寺院の入り口には、守門神夜叉が恐い顔をして立っています。よく見ると、一寸ユーモラスな顔です。夕食は、ディナークルーズ、

ライトアップされた王宮や、暁の寺院は見事なもので、壮大な建物全体をライトアップさせ、観光に力を入れているな、と思いました。

最終日「戦場に架ける橋」で有名なクウエー川鉄橋を列車で渡り、そして歩いても見ました。戦争博物館では、思わず気分が悪くなり、戦争の時代を思い、心が痛みました。タイの食事は、独特の辛料で辛く、そしてパクチーという葉の味には閉口し

花祭り

喜捨袋の御礼

長岡市仏教会主催の花祭り行事が、大手通り商店街のご協力を得て、盛大に執り行われました。

喜捨袋のご協力が九万七千六百五十円集まり、長岡市仏教会の方へ届けさせていただきますが、安善寺



ました。でも「タイスキ」は日本のシャブシャブのようで食べやすかったです。最終日の夕食は、日本料理だったので、さすがにホッとしました。たくさん土産話と写真を撮って、無事帰国しました。方丈様や皆さまのお陰で、とても楽しい旅でした。ありがとうございました。

の檀信徒の皆さまから多額のご協力をいただき、御礼申し上げます。来年も五月五日（子供の日）に行う予定です。

7月29日(日)は 参議院選挙の日です。

あなたの大切な一票。棄権しないで必ず投票しましょう！

お別れ

平成十三年二月末〜六月二十日

佐藤松久様 二月廿八日寂

長岡市宮内

小林 博様 三月七日寂

三島郡脇之町

平岡スイ様 三月廿一日寂

長岡市花園

長田英男様 四月一日寂

長岡市中島

村山登美代様 四月二日寂

長岡市中島

笠井十四和様 四月三日寂

長岡市三ツ郷屋

佐々木マツイ様 四月廿六日寂

茨城県ひたちなか市

山口ハツイ様 五月十三日寂

長岡市新保

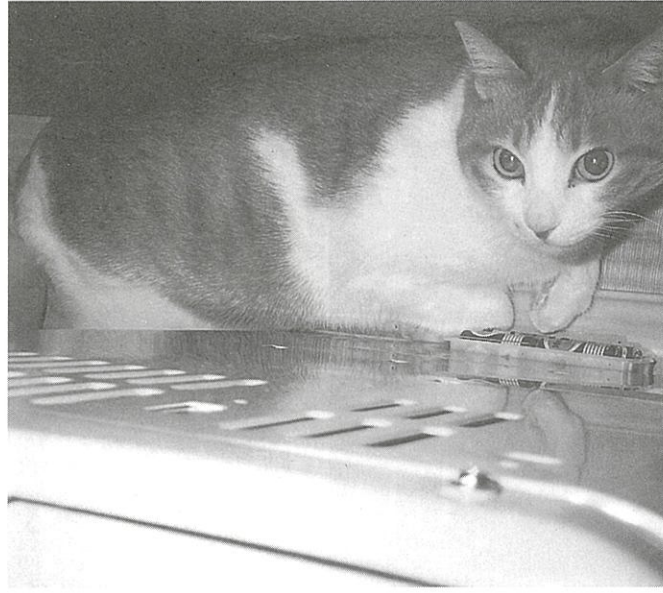
宇野達雄様 六月十六日寂

長岡市学校町

ご冥福をお祈り申し上げます。

何だか変だぞ！

ペコのひとりごと



が、如何せん赤ちゃん、じやれたくて仕方がないようです。

「さくら」と言う名の子犬は三月五日生まれのシェパードの雌犬で、あまりにも世の中が物騒になってきたので、番犬のために飼われたそうです。

そういわれば、私はそちらの方では役に立たないので、我慢せざるを得ないので、私が体力がなくなつて来たのに、さくらはどんどん大きくなり、今では私の五倍以上になりました。

りながら近づいてきました。お母さんの「さくら、ペコと仲良くするのよ！」と言う声が聞こえて来ましたが、今まで私の天下だったのに、荒らされては大変と私の右手でさくらの頭をパンチしたら、「キャンキャン」と泣いて、後ずさりしたので

心配した住職とお母さん

は、私の大好物の「しらすと鯉節」を、キャットフードにかけてくれる事が多くなり、「さくらが来てからペコの食事が良くなったね」と、誰かの声が聞こえてきました。

でも、ストレスは体に一番悪いと聞いていますが、一度痩せてしまった体重を、元に戻すのは大変なことです。それと、初めから居た者同士は良いのですが、途中から来た者とうまく生活していくのは大変です。

今、人間社会でも問題になっていくようですが、縁があつて、同じ屋根の下に暮らす家族になったのですから、もつと、さくらに近づき、仲良く暮らしていきたいと思つています。ニヤーン！

編集 小泉首相が所信

表明演説に引用した『米百俵』の故事。

その一言で一躍長岡が脚光を浴びるとは、誰が予想したであろう。まさに晴天の霹靂である。経済効果として、心情的にも、市民に嬉しい波紋を広げている。

ときに三年前の冬、同様の体験をした事を思い出す。ローマで知り合ったガイドのジャン・カルロ氏は、私のパスポートを見るなり、「長岡の長町！」と叫びました。

「ご存知ですか？」その地名は河井継之助が敵の銃で傷を負つた所ですよ」あつけにとられる私に、彼は流暢な日本語で続けた。

ガイドはアルバイトで、本業はポロニーヤ大学の東洋史学科の講師をしている

事。日本が好きで、竜谷大学に八年学び、日本史、なかでも戊辰戦争に関心があつた事。長岡城の興亡こそ、明治へ歴史が動くターニングポイントで、もつと誇りなさい、と激も受けた。その後イタリヤからのファックスは、良寛の詩の一節、「可憐此時意寥寥々只自知」であつたりと、私を悩ませ続けている。

かように地元で見えないものが、他者の視点では見える、といった例は多々あるものだ。ダム計画反対運動などもそのひとつである。「事情を知らないよそのものが何をいうか！」しかし、その他者こそ、客観的に冷静に事象を見据え、的確かつ創造的なキーワードを有するのではなからうか。受け入れる柔軟さも必要だが。

東京の国電に乗ると様々な国の言葉や、肌の色、髪の色が混ざり、どちらがよそのかわからない。垣根がなくなりつつある今、戊辰の故事はかえって新鮮に人々に迎えられるのかもしれない。

編集委員 ● 加瀬由紀子

忘れもしない四月二十五日、朝、いつものように目覚めると、お勝手の方で何やら聞いた事もない声がするのです。

様子を窺いながら、降りて行って見ると、私よりも少し大きい真つ黒な犬が私を見つけると、しつぽを振

りながら近づいてきました。お母さんの「さくら、ペコと仲良くするのよ！」と言う声が聞こえて来ましたが、今まで私の天下だったのに、荒らされては大変と私の右手でさくらの頭をパンチしたら、「キャンキャン」と泣いて、後ずさりしたので

心配した住職とお母さん

お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。同封の原稿用紙は、ファックスでも、郵便でも送れます。気軽に、お便りをお寄せください。お待ちしております。

原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問(編集部や住職がお答えします)など。
- 嬉しい・楽しい/嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

第十五号、秋号は平成十二年九月十日(月)発刊予定です。

欄外のことばは、高森顕徹著「光に向かって一〇〇の花束」(二万年堂出版)より抜粋させていただきます。編集部